



発行
松ヶ崎社会福祉協議会

発行者
西野 信雄

編集責任者
芝山 宗昭

創立十五周年にあたり

松ヶ崎社会福祉協議会
会長 西野 信雄

松ヶ崎学区の皆様におかれましては、益々お元気で過ごされていることと存じます。また、平素は松ヶ崎社会福祉協議会の諸活動にご参加・ご協力を頂き、心から御礼申し上げます。当会も、平成八年五月に前会長・岩崎純一氏のご尽力により発足して以来、今年で十五年目を迎えることが出来ました。これも偏に地域の皆様方のご理解の賜と、役員一同感謝致しております。

この節目の年にあたり、当時を振り返って見ますと、政治面においては、橋本内閣の成立に始まり、消費税が3%から5%に引き上げられ、現在の政権与党たる「民主党」が結成されました。また、社会的には、全国各地で病原性大腸菌「O115

七」が大流行したことが思い出されます。更に、インターネットが一般層にも浸透し、携帯電話の軽量化をはじめとし、デジタルカメラ・MDプレーヤー・DVDの登場など、我々の日常生活に変革をもたらす目まぐるしい進歩の年でもありました。他方、芸能関係では、絶頂期の安室奈美恵の、二年連続でのレコード大賞受賞をはじめとし、猿岩石・PUFFYなどの人気も思い浮かびます。そして、女子高生の間では「ルーズソックス」が流行し、援助交際・ストーカーという社会現象も出てきました。ヒット商品として、アサヒスーパードライ・地ビール・ノンシュガー食品などがあり、ホンダRV車も登場しました。最近では携帯電話が通話手段からメール手段に切り替わり、音楽の有料配信(レコード店不要化)、電子書籍(本屋不要化)、iフォンによる買い物や道案内受けも可能になってきました。

今年の七月にはテレビはアナログ放送からデジタル放送へ切り替りました。何時でも何処でも、綺麗な情報が迅速にやり取りできるデジタル技術の便利さは貴重に思えますが、一円でも安い商品を中心の強力企業から買えるの必要な道行く人に物を尋ねる必要のない便利さは如何なものでしょうか? せめて、私たちの住む「松ヶ崎地域」はデジタル化した寂しい町ではなく、心の通うアナログ中心の地域でありたいと願っております。

今、十五周年を迎えるにあたり、当会の担うべき役割も、益々大きなものとなってゆくであろうことを、役員一同深く心に刻んでおります。

今後とも微力ながら、皆様楽しんで頂ける催し・行事等々を順次計画して参る所存であります。皆様方の一層のご協力・ご参加を衷心よりお願い申し上げます。

平成23年度の事業

- 4月 総会
 - 5月 健康すこやか学級 (第1回)
 - 6月 ふれあい会食会
健康すこやか学級 (第2回)
 - 7月 健康すこやか学級 (第3回)
寝具クリーニング
 - 8月 自主連合主催「夏祭り」協力
 - 9月 敬老記念品贈呈
児童の寄せ書きを添えて
健康すこやか学級 (第4回)
 - 10月 『社協だより』第27号発行
敬老会
 - 11月 健康すこやか学級 (第5回)
 - 12月 健康すこやか学級 (第6回)
 - 1月 もちつき大会 (松ヶ崎児童館)
 - 2月 賛助会員募集
 - 3月 健康すこやか学級 (第7回)
『社協だより』第28号発行
- * 毎月 子育てサロン (松ヶ崎児童館)
* 毎月随時 独居家庭訪問

役員名簿

松ヶ崎社会福祉協議会

会長 副会長
庶務 監事
顧問 役員

- 西野 信雄 黒岩 達夫 岩崎 宗昭 芝山 宗昭 北川 浩一 島川 憲之 林上 弘之 村上 敬之 井川 美祿 藤田 美喜 立川 徹子 岩谷 澄子 奥谷 ゆき 浅沼 澄子 梅原 恵子 中和 理恵 村山 幹子 福山 真知 安藤 佐代 古谷 法代 吉田 和代 今井 典子 岩川 長子 大木 壮二

平成二十三年度

健康すこやか学級

松ヶ崎小学校ふれあいサロン

第一回 五月二十五日

二十三年度第一回目の学級です。新入の浜見さんを加えて一九名が出席。区社協新任の多田さんと大原包括支援センター新任の大道さんも同席。林顧問の挨拶、吉田先生の歌に合わせた出席点呼を経て、林さんと佐々木さんの五月誕生日をお祝い。

一時限は歌唱。「ドレミの歌」と「手の平を太陽に」を元気に歌いました。二時限は恒例の「京都クイズ」テーマは言葉の語源となった寺当てです。堂々巡り、埜が明かない、水に流すなど慣れ親しんだ言葉が、清水寺、上賀茂神社、下鴨神社に発することを初めて知ることができました。

三時限は博愛会病院の看護師田中さんによる健康講話。食事で取れる水以外に一日1.2リットルが必要ですが、高齢者は渴きに鈍感になって、取り忘れることが多い。めまいがしたり脈拍数が増えることがあるので、小まめに水を飲みましょうと諭されました。下鴨警察署の生活安全課増田係長からは自転車盗難防止の方策についてお話があり、交通課中川さんからは、横断中に顔を上げることや目立つ服装に心掛けられることが強調され、ライト反射タグが配られました。

午後最初の第四時限

の前半は真面目な国語。類意の四字熟語が二つ、片方は虫食い状態並べられました。堅忍持久と□操堅□、百花繚乱と□紫□紅、など



は生徒の勝ち。唯一答えられなかったのは前人未到と□□未踏。人跡が正解でした。

後半は面白国語。ドスンと音がしたが何処で？、白犬と黒犬がいるがどちらが吠える？、この鳥はメスカオスカ？ などなど。生徒は全問正答できました。

第五時限では吹き矢工作のために小の新聞折り込み広告紙が支給されました。生徒は筒の太さや長さ、矢の抜きなどそれぞれ工夫して武器を仕上げ。

西野校長も加わってそれぞれ一〇人ずつのA、Bチームを結成。男性は仕切りのために置かれた机の後から、女

性はその前からの狙って矢を発射。個人の最高得点は北野さんの10点、チームとしてはBチームが23対18で勝利しました。体操の後、



昨年度最後の学級で作った角皿を持って、下校いたしました。

第二回 六月二十四日

ふれあい会食会

梅雨の晴れ間に恵まれた六月二十四日、お元気な高齢者の方々に役員を含め六十数名がアピカルインに参集されました。

まず、来賓の左京区役所副区長岩佐仁己様、松ヶ崎自治連合会長岩崎猛彦様のご挨拶を頂く。ついで、下鴨警察署交通課の婦警さん三名による「高齢



者の交通事故および交通マナー」講演。良く周りを見て、正しく判断し、正しく反応することの大事さが強調するため、青信号・黄信号・赤信号を見て、瞬時に約束の拍数で手を打つゲーム。横断歩道を渡るマナーを教える婆孫コント。周りを見て識別する能力開発ゲームなど、アイデア満載の演目に脱帽。美味しい食事の後は、区社協の大西一雄さんから、「東日本の震災地ボランティア活動」が報告され、防災の心得も追加された。

最後の部は、娯楽。吉田乃理子先生の伴奏で、「幸せなら手を叩こう」、桃太郎さん、世界は二人のために」を夕抜きで歌ってドギマギ。西野会長と井栗先生出題でテーブル対抗の〇×クイズ。正解数同数でジャンケン決着は豪華商品を賭けて、気合十分。

吉田乃理

子先生の指導の「すこやか体操」で体をほぐし、黒松副会長の挨拶の中で民生委員や老人福祉委員などが壇上で紹介され、楽しい会を閉じました。



第三回 七月十四日

暑さの厳しい時期でしたが、新入の

山口昭子さんを迎え、元気にスタート。吉田先生のエレクトーンに合わせ、出席点呼。六月七月生まれの方をハッピーバースデイを歌ってお祝い。

一時限目の授業は西野校長による漢字クイズ。本体が車、偏と旁が木の字や本体が十で偏と旁が同じく木の字等々が出題されました。皆さん、読めますか？（ヒント 鉄製の装置です）

二時限目には松ヶ崎小学校読書企画推進委員のお母さんお三方が登場。最初は山田さんが田島征三作「かとりせんこう」を、続いて松田さんが灰谷健次郎・長新大作「ろくべいまつてろよ」をじっくり読み聞かせ。



最後に伊藤さんが「犬と猫のうろこだま」を語って下さいました。鮮やかな絵や真迫の語り口に別世界に引き込まれた一時でした。

三時限目は博愛会病院の山下看護師から「健康講話・熱中症について」を受講。熱中症は日向に限らず室内・夜中にも起こるので、風通しのよい衣服を着用し、小まめに水を飲むことが必要と注意を喚起されました。

昼食では少量ですが、京の味覚・鱧

を楽しみました。

午後、四時限前半は井栗先生による京とクイズ。「右流左死」、「玉の輿に乗る」、「折り紙つき」の語源は？後半は、コイン当てゲーム。まず、生徒は二チームに別れます。一方のチームの当番生徒が硬貨を手で隠しながら隣の生徒に渡して（渡さなくて）、他方のチームの

当番生徒に「誰がどちらの手に持っているか？」に問いかけて的中率を競うゲームです。途中で硬貨を落としたり、大騒ぎ、大笑いでした。

五時限目は「祇園祭」の鉾の掛け軸の製作。和紙柄の台紙に色紙を貼り合わせ。流石に鉾を身近に知る生徒さん方、細部の図柄にも工夫を凝らし、重厚な作品が仕上がりました。今年の祇園祭は、別の見方で楽しまれることでしょうか。



第四回 九月二十九日

エレクトーンに合わせた出席点呼。八月、九月生まれの三人に「ハッピーバースデイ」の歌でお祝い。秋に相応しい季節の歌「月の沙漠」を歌って、脳を目覚めさせていきます。

第一時限は京都町美化委員会二人による「ゴミの出し方」講義。「可燃ごみ」、「ビン、缶、ペットボトル」、「プラスチック製容器包装」、「小型金属類」などに細分化されていること。ただし、マヨネーズ容器など本来は「プラスチック製容器包装」に属するものも、内容物が十分に取除けないなど迷った場合は「可燃ごみ」として出す、など生活に有用な知識を授けていただきました。

第二時限は下鴨署の婦警さんによる今年二回目の交通安全のお話。まず、最近の自動車は傾斜させた広い前ガラス窓を支えるために太い柱が運転者の右前方に有り、右折時に歩行者が見え難くなっていること。小道から大通りに出ようとする車の運転手は大通りの車を見ようとして無造作に進み、大通り沿いの歩道を走ってくる自転車と衝突し易いことなどが知らされました。運転手が自分を見ている表情を確認して道路を横断するようになど、「自分の命は自分で守る」心構えを強調されました。



第三時限は與那覇（よなは）看護師さんの健康講話。インフルエンザワク

チンは二週間後から四ヶ月まで有効（80%）なので、流行時期の前十二月初めには接種するように。家では、温度と湿度を保つ、栄養と休養を心掛けることなどが強調されました。

午後の始まりの第四時限目は京都クイズ。「奥の手を使う」の奥の手とは？、「スッパ抜く」のスッパとは？、など。

第五時限は絵合わせゲーム。十二支の動物の絵各二枚に猫（罰カード役）を加えた全部で二十五枚のカード

が白板に貼られました。直近の記憶が飛び易い高齢者には困難なゲームでしたが、当日の出席者十二人に役員三人を加えて、無事、時間内に合わせ終えました。



第六時限はタオル地ハンカチでの造形。準備製作として、丸め／曲げてクワツサン。四つ折り／片側袖抜き／他方丸めて一眼レフカメラ等等。本番は、三角タタミ／頭から折込み一回／底辺から丸め二回／・／耳出し／輪ゴム縛り（頭と胴体区分）。赤目を貼り、リボンをつけて兎さんの出来上がり。すこやか体操で締めくくり。次回は敬老会で会いましょうと声を掛け合いながら下校しました。

その他の主な活動

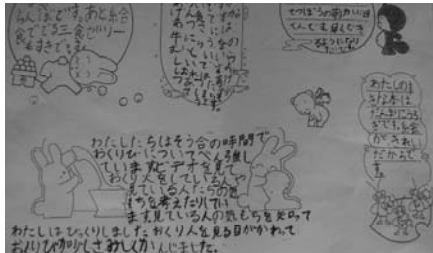
「自治連合会からの敬老記念品 社協役員が配布」

今年の敬老の日は九月十九日でした。松ヶ崎学区内にお住まいの高齢者はますます御元気で、九百人以上の方が、七十五歳以上になられました。目出度いことです。敬老の日が迫った九月十日頃、社会福祉協議会の役員が、高齢者宅を訪問してお祝いを述べ、安否を確認しながら自治連合会からのお祝い品をお配りしました。

これまでは小学校高学年生が書いたお便りを添えていたのですが、最近では生徒数が減少し、一人で何通ものお便りを書くのに無理が出てきたので、今年には三年生が学校生活の近況を絵と共に寄せ書きした



祝い品



生徒の寄せ書き

ものを数点抜き出してコピーしてお配りしました。お祝い品としては、残暑厳しいこの頃に役立てるようにタイル地のハンカチ三点に妙、法、松ヶ崎の刺繍を入れたものを選びました。資金は従来より松ヶ崎自治連合会から出ております。正確を期すため、熨斗は松ヶ崎自治連合会と記しました。

学区内ボランティアの活動紹介

②松ヶ崎交通安全会

小泉会長から寄稿頂きました。

学区内一九町から出された一九名の委員と会長・副会長で交通安全会を構成し、下鴨警察署安全課と連携し、学区内の安全な交通環境実現と事故防止に役立つ活動をしています。今年には区役所が松ヶ崎へ移転してきたことで、「高齢者の事故防止対策の推進モデル地区（学区）」に指定され、例年以上に広報活動に精を出しています。

1. 高齢者交通事故防止のための声かけ活動

表記活動強化月の九月には、松ヶ崎交通安全会の委員二〇名で「声かけ隊」を結成し週一回のペースで、高木町生協前、地下鉄松ヶ崎駅前、区役所前の三箇所を拠点として、高齢者、道行く学生や会社員に対して交通安全の啓発を行いました。当初は下鴨署交通課の指導を受けました。九月二十七日はモデル地区活動推進委員の島浩之、西野信雄、岩崎達夫 三氏も合流されました。

- 声かけ活動の目標は、
- (1) 危険な道路横断する高齢者へ注意喚起と安全行動促し、
- (2) 道路を横断する高齢者の保護



の改善が見られました。ヘッドライト反射ワッペンを靴のくるぶし部分に取り付けるサービスは好評でした。



(横断途中で信号が変わりそうな場合や右左折車との間合いが問題な場合に、高齢者に付き添う)

(3) 模範的に通行している高齢者への称揚、および高齢歩行者に十分ケアしている運転手への賞揚、などでした。実際に活動した結果、

- * 横断歩道を無視した横断や車両の直前直後横断をする高齢者
- * 傘を差して自転車や自転車を運搬する若者や歩道上の高齢者に気配りのない自動車運転者、が多くみられました。

府自動車学校で開催された高齢者交通安全大会に下鴨署管内の代表として参加し、自動車・自転車安全運転競技に頑張りました。

2. 子供の交通事故防止活動など

八ブロックに分かれている通学路で学童と車・自転車との衝突事故を防ぐための方策（看板やマスケット設置）の有効性を検討しています。また、朝夕の通学路で父兄の方々が自主的になさっている旗当番を側面から支援・激励させて頂いております。

健康すこやか学級 途中入学生募集！

当学級はクイズ、歌唱、工作などを通じて、高齢者の頭から手の先までの隅々を生き生きとさせることを目的にしています。不自由を感じる前でも感じてからでも結構です。70歳以上で学区内にお住まいの方、どうぞ入学下さい。

お問い合わせ先 西野信雄 (電話 722-6278)

- ▽編集委員△
- 芝山宗昭
- 梅原慈子
- 村上弘子
- 中川美祢子
- 林久雄

